

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	上田紬活性化支援事業『蚕飼姫 (こがいひめ) プロジェクト』
事業主体 (連絡先)	上田商工会議所 (中小企業相談所 産業振興課 担当者 大久保 努 電話 0268(22)4500 FAX0268(25)5577 電子メール: ohkubo@ucci.or.jp)
事業区分	(6)オ その他地域の特色及び個性を活かした産業振興並びに雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	408,876円 (うち支援金: 304,000)

事業内容

上田商工会議所では、地域資源・伝統産業の「上田紬」活性化支援事業を3年間実施してきました。国内や海外で生き残る為には伝統産業を先端技術でリニューアルが必要であり、原料である繭、生糸も上田産のクオリティが絶対必要である事に行き着きました。そこで、蚕都上田に思いを馳せる女性たちに「美智子妃殿下様と同じ仕事をしてみませんか？」と信州大学繊維学部農場をお借りし、養蚕の復活を試みました。



事業効果

地元の人たちを巻き込んだ養蚕ボランティアの実施。
上田紬織物協同組合各工房、信州大学繊維学部、かつての絹業事業者、上田紬販社、行政、上田商工会議所の究極な産学官・農商工連携となった。
春蚕 (はるご)・秋蚕 (あきご) と養蚕を実施し、採れた糸から上田紬織物協同組合各工房が新製品を試作し、相当ラグジュアリーな商品群が出来上がってきています。

※1 自己評価 (事業実施率) 【高A】

【目標・ねらい】

- 究極な産学官・農商工連携
- 養蚕の復活 (価値高い原料供給)
- 地域一丸となれるテーマ
- 上田紬の高ブランド化

今後の取り組み

「蚕飼姫プロジェクト」は、新聞、ニュースで多く取り上げられ、知名度もできた。
今後の取り組みとしては、昔相当数のあった養蚕農家の復活に向けて火を絶やさぬよう養蚕を実施していきます。養蚕農家が採算以上を取れるよう、仕組みづくりを考えていきます。
「上田紬」が、大島紬や結城、丑首と互角、それ以上になるよう原料から研究、販路開拓支援を実施していきます。

※2 自己評価 (事業効果) 【高A】

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。
※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある